

平成29年度全国学力・学習状況調査の結果の分析及び活用について

学校名	伊勢原市立緑台小学校
-----	------------

1 調査結果の分析及び考察

	特長	課題
A問題	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情景を思い浮かべたりリズムを感じ取ったりしながら、俳句の情景を捉えることができる。</li> <li>・ことわざの意味を理解し、正しく使うことができる。</li> </ul> <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乗法で表すことができる数量関係を理解できている。</li> <li>・未知の数量を表す口を活用し、問題場面を立式することができる。</li> </ul>	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同音異義語のある、熟語を漢字で書くこと。</li> <li>・互いの意見を聞き合い、考えの共通点や相違点を整理しながら、進行に沿って話し合うこと。</li> </ul> <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加法、乗法が混合した整数と小数の計算。</li> <li>・資料から、2次元表に入る適切な数を求めること。</li> </ul>
B問題	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえることができる。</li> </ul> <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・示された条件を基に、適切な立式をすることができる。</li> <li>・示された割合を解釈し、基準量と比較量の関係を表している図を判断することができる。</li> </ul>	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や意図に応じ、必要な内容を整理したり、指示された言葉を使ったりして記述すること。</li> <li>・自分の考えを広げたり深めたりするための発言の意図を捉えること。</li> </ul> <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仮の平均を用いた考えを解釈し、条件に合う平均の求め方を言葉や式を使って記述すること。</li> </ul>
質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝食をとる、決まった時刻に就寝起床する、など、規則正しい生活のリズムが習慣化している児童が多い。</li> <li>・ものごとを最後までやり遂げ、達成感を持たた経験のある児童が多い。</li> <li>・ほとんどの児童が、学校で友だちに会うのが楽しい、好きな授業がある、人が困っているときは進んで助けていると解答している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・約8割の児童が、授業などで自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることを難しいと思っている。</li> <li>・約2割の児童が、「いじめはどんなときもしてはいけない」について、「どちらかと言えばあてはまらない」「当てはまらない」と答えている。</li> <li>・国語や算数の勉強は大切だと思っている児童は多いが、好きという児童の割合は半数前後である。</li> </ul>

2① 授業の充実に向けた重点的な取組

<p>【伝える力の育成】 教科学習にとどまらず、学校生活全体において、「自分の考えを自分の言葉で話す、書き表す」という活動の機会を設ける。また、その具体的指導に取り組んでいく。</p> <p>【わかる・もっと知りたくなる授業づくり】 実態に合った、発問、教材づくり、場づくり等の工夫を通して、勉強は大切と思っている児童たちが、「わかった」「楽しい」「もっと知りたい、やってみたい」と感じられる授業づくりに取り組む。</p> <p>スキル学習、家庭学習への指導を充実させ、基礎基本の定着を目指す。</p> <p>【他を思いやる心の育成】 安心できる学級づくりとともに、相手を選ばず、誰に対しても助け合ったり、いけないことはいけないと声を掛け合ったりできる人間関係づくりを心がける。また、どんな理由であれいじめはいけないという指導を徹底していく。</p>
---

2② 家庭(地域)への発信内容(協力依頼事項) ※家庭で取り組んでほしい内容や地域の方に知っておいてほしい内容

<p>今回の調査でも、家庭での規則正しい生活リズムが身につけている児童が多いことがわかりました。このことは落ち着きがあり、充実した学校生活を送るための基盤となることなので、ご家庭での取り組みに感謝いたします。</p> <p>自分の考えを伝える力は、今後の学校生活、さらには社会に出たときにも必要になる「生きる力」の1つです。日常的な会話でも、このことを意識した児童とのかかわりを、学校だけでなく、家庭、地域でも心がけて頂けたらと思います。小さな積み重ねでも、大人になる頃には大きな力になると考えます。</p> <p>児童たちは勉強は大切だと感じています。引き続き、「わかる授業づくり」に取り組んでいきます。それとともに、家庭学習にも主体的に取り組めるよう指導したいと思います。ご家庭でもお子さんの実態に応じて、「手をかけ、目をかけ、声をかけて」、ご協力頂けるとありがたいです。</p> <p>友だちの存在が大きな学校生活の中で、様々な出来事を糧としながら、円満な人間関係を築く力を育てていきたいと思っております。学校、家庭、地域の連携を大切にしながら、今後も指導してまいります。</p>
---